

## 子どもからの意見聴取の取組・内容について

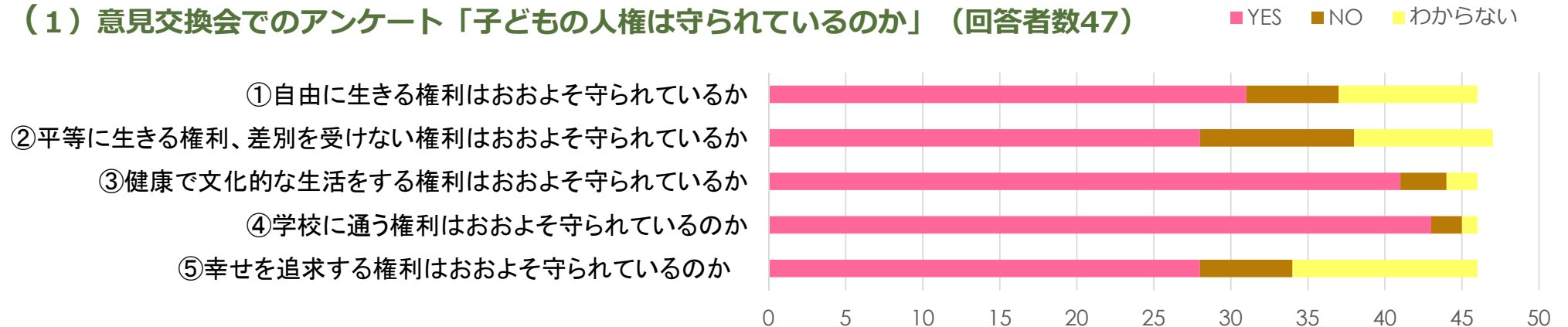
1. 高円寺学園中等部意見交換会の実施報告(7月20日) <2-3 p>
2. 中高校生世代ワークショップの実施報告(8月26日) <4 p>
3. 子ども日本語教室(小学生)での意見聴取の実施報告(9月27日) <4 p>
4. 天沼小学校意見交換会の実施報告(10月10日) <5 p>
5. 済美小学校意見交換会の実施報告(10月26日事前授業・10月31日意見交換会) <6 p>
6. 「すぎなみフェスタ」の実施報告(11月4日) <7 p>
7. 杉並区ホームページ等における意見募集(11月4日~12月31日まで実施中) <8 p>
8. 今後(11月以降)実施する子どもからの意見聴取の取組について <9 p>

## 1. 高円寺学園中等部意見交換会の実施報告（7月20日実施）

高円寺学園9年生の生徒たちが、子どもの権利に関する国や杉並区の動きについて理解を深め、テーマ「杉並区の子ども全員を幸せにする条例案を考えよう！」のとおり個人ワークとグループワークで条例案を考えました。

グループワークには子ども家庭部及び教育委員会事務局職員も参加し、生徒たちと意見交換を行いました。

### （1）意見交換会でのアンケート「子どもの人権は守られているのか」（回答者数47）



- タブレットに表示された「子どもの人権」に関するアンケートに回答し、「子どもの人権は守られているのか」考えました。  
 普段はあまり考えないような質問に、「今までの自分の経験」や「家や学校のこと」などに考えを巡らせながら、タブレットに答えを入力しました。

## 1. 高円寺学園中等部意見交換会の実施報告（7月20日実施）

### （2）個人ワークとグループワーク

- はじめに個人ワークで条例案を考えました。

#### 個人ワーク意見抜粋

- ・有休がほしい！【理由】無理をしないでぼうっとする時間が欲しいので、「欠席」にならない「有休」がほしい。
- ・自分の伸ばしたい分野を伸ばす権利を守りたい。【理由】将来の夢がある子どもが、自分の夢に向かって力を伸ばすことができる。
- ・1日の授業時間を6時間から5時間に減らす。その代わりに土曜日も授業をする。【理由】たくさん学校にいきたい！

- 続いてグループに分かれ、条例案を共有しました。「子どもにとってしあわせってなんだろう？」「子どもが幸せになるためには、どんな権利が必要だろう？」自らで考えた条例案を振り返りながら、各グループに区職員も加わり、意見を出し合いました。

#### グループワーク意見抜粋

- ・私たちのグループは、「自由に活動できる権利」を条例に盛り込むべきだと思います。  
【理由】自由に活動をする（いろんなことにチャレンジする）ことが個人の成長につながる。制限があると子どもは成長できなくなってしまう。
- ・私たちのグループは、「自分がやりたいことを受け入れてもらうことが大切」という内容を条例に盛り込むべきだと思います。  
【理由】なんでも頭ごなしに否定することは子どもたちの意見や、将来を潰してしまうかもしれない。
- ・私たちのグループは、「自分らしく、自分にあった選択をできる権利」という内容を条例に盛り込むべきだと思います。  
【理由】子どもの時から親や周りの大人にいろいろ決められて生きていたら、大人になったときに本当に自分がやりたいことができず充実した人生が送れない。

### （3）意見交換会後の生徒の振り返り

- 意見交換会の後、生徒全員がタブレットに感想を入力しました。

#### 感想抜粋

- ・これからの条例が自分たちの意見が採用される可能性があると聞いて、びっくりした。  
自分たちの意見が反映されるために、どんどん自分の意見を伝えることを大切にしていきたいと思った。
- ・みんなの意見を改めて聞くことができたし大人の考えも交えて話し合いをすることができてよかった。  
条例は大人だけが決めるものだけじゃないと知ることができた。自分の思いも他の人の思いも平等に尊重されるべきだと思った。



高円寺学園意見交換会の詳細は、杉並区ホームページ「高円寺学園意見交換会（5年7月20日）」に掲載しています。  
<https://www.city.suginami.tokyo.jp/kyouiku/keikaku/ikenkokan/1088979.html>

## 2. 中高校生世代ワークショップの実施報告（8月26日実施）

「杉並区子どもの権利擁護に関する審議会」の審議に先立ち、こども基本法第11条に基づく意見表明の機会の一つとして「コロナ禍と子どもの権利」というテーマで実施しました。

- 中学1年生から高校1年生までの15名が参加
- コロナ禍の日本や世界の子どもたちの状況を振り返り、自身の経験や感じていたことをグループで共有しました。
- 「子どもの権利条約」や「こども基本法」の理解を深めてから、「杉並区に伝えたいこと」を考え、グループ内で意見交換をした後、子ども家庭部長及び子ども政策担当課長に向けて、全体発表を行いました。



中高校生世代ワークショップの実施報告書を区ホームページに掲載しています。

[https://www.city.suginami.tokyo.jp/\\_res/projects/default\\_project/\\_page\\_/001/089/766/chukouseiworkshop\\_jissihoukoku.pdf](https://www.city.suginami.tokyo.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/089/766/chukouseiworkshop_jissihoukoku.pdf)

## 3. 子ども日本語教室（小学生）での意見聴取の実施報告（9月27日実施）

杉並区、杉並区交流協会及び杉並区教育委員会が協力し、令和5年1月から開講した「子ども日本語教室」に通っている外国にルーツを持つ子どもたちのうち、小学生（高円寺教室）を対象に意見聴取を実施しました。

- 日本語の習熟度や初対面の大人とも話せるという観点等から、事前に声をかけた小学3年生2名、小学4年生2名の計4名が参加（国籍は、中国、モンゴル、ネパール）
- 子ども2名と職員2名、サポート役1名の計5名を1グループとし、「学び」「遊び・居場所」「意見を言う」に関連する質問をし、子どもたちから普段感じていることを素直に、自由に答えてもらいました。
- 日本語を母語とせず、日本語の習得が不十分な子どもは、意見表明の手法の選択肢や機会が限られることから声をあげにくい状況にあり、聴く側の工夫や配慮が特に必要とされるという点を考慮して以下の工夫をしました。
  - ・リラックスした雰囲気子どもたちが話せるように、いつも通っている教室を会場としました。
  - ・普段から、教室の子どもと関わっている杉並区交流協会職員もサポート役としてグループに加わりました。



子ども日本語教室（小学生）での意見聴取実施報告書を区ホームページに掲載しています。

[https://www.city.suginami.tokyo.jp/\\_res/projects/default\\_project/\\_page\\_/001/089/766/houkokusyo\\_kodomonihonngo\\_syogakusei.pdf](https://www.city.suginami.tokyo.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/089/766/houkokusyo_kodomonihonngo_syogakusei.pdf)

## 4. 天沼小学校意見交換会の実施報告（10月10日実施）

子ども家庭部と教育委員会の職員や学校運営協議会委員、子どもの権利擁護に関する審議会委員がグループに加わり、子どもたちとの交流を深めながら、テーマに沿って意見交換を行いました。

- 6年生全員が参加。1組～3組を18グループに分け、子ども5・6名に対し大人1名が加わりました。
- 冒頭に意見交換会の趣旨やテーマについて教育委員会職員から説明をした後、テーマ「安心できる場所はどこなところか？」について、個人ワークで考えてから理由も含めてグループに共有しました。

### 意見抜粋

- ・学校や家【理由】その日にあったことや悩み事を友達や家族に話すと気持ちが落ち着く。
- ・図書室、理科室【理由】一人で好きなことに集中して取り組むことが楽しい。
- ・信頼できる人がいるところ。【理由】困ったときに頼れる人がいると穏やかな気持ちになる。
- ・自然が多いところ【理由】大自然の中、何も考えずにボーっとしていると気持ちがすっきりする。

- 「安心できる天沼小学校はどこなところか？」、そのために「（1）自分たちにできること」「（2）先生たちにしてほしいこと」「（3）地域の方をお願いしたいこと」という3つの視点から意見を出し合い、全体に向けて発表しました。

### 意見抜粋

- ・今みたいに楽しい学校【理由】しーんとしていると寂しく、不安な気持ちになる。
- ・校則が厳しすぎず、ルールをみんなで決めてみんなで守れる学校【理由】子どもが中心で、みんなが安全に楽しく過ごせる学校にしたい。
- ・信頼できる人がいるところ【理由】困ったときに頼れる人がいると穏やかな気持ちになる。
- ・先生やスクールカウンセラーにいつでも悩みごとを話せる学校【理由】悩み事を聞いてもらえると不安な気持ちがなくなりスッキリする。

#### 【自分たちにできること】

- ・悩んでいそうな人、困っている人に声をかける【理由】不安な気持ちを一人で抱え込まず、みんなが安心できるようにするため。
- ・「一人はみんなのために、みんなは一人のために」を意識する【理由】自分勝手にならず、お互いに気遣うことが大事だと思う。

#### 【先生たちにしてほしいこと】

- ・意見を出し合う場を作ってほしい【理由】自分たちで意見を出し合いながらクラスをつくりたい。
- ・先生も一緒に遊びに参加してほしい【理由】先生が参加してくれると徳部tぐ巻があるし、クラスの雰囲気も明るくなる。

#### 【地域の人にしてほしいこと】

- ・気軽にあいさつしてほしい【理由】街中で自分からあいさつするのは勇気がいるから。
- ・学校のイベントをサポートしてほしい【理由】先生は子どもの安全を守ってくれるので、地域の人には一緒にイベントに参加しながらサポートしてほしい。

天沼小学校意見交換会の様子は、現在作成中です。近日中に区ホームページに掲載する予定です。

## 5. 済美小学校意見交換会の実施報告（10月26日事前授業・10月31日意見交換会実施）

### <事前授業>

意見交換会に先立ち、子どもたちを取り巻く状況や杉並区の取組について説明するため、子ども家庭部と教育委員会職員による事前授業を行いました。

- 6年生全員と、校長先生、6年生の担任の先生が参加しました。
- 子ども家庭部からは、「子どもにやさしいまちって、どんなまち？」というタイトルで、子どもの権利条約やこども基本法、杉並区の子どもの権利擁護に関する取組等について紹介し、これまで以上に子どもの思いや考えを聴いて大切にしながら区の取組を進めていきたいと考えていることを話しました。

### <意見交換会>

こども家庭部と教育委員会の職員のほか、学校運営協議会委員、PTA役員、近隣町会・自治会の会長、子どもの権利擁護に関する審議会委員が子どもたちのグループに加わり、意見交換を行いました。

- 6年生全員を7・8名ずつの8グループに分け、大人が3名ずつ加わりました。
- 「あなたはどんな学校をつくりたいですか？」と、済美小の教育目標「済美小の大事な一人になろう」、「みんなと生きる済美の子」を実現するために自分たちにできること、やるべきことは何かについて、子どもたち一人一人の思いや考えを聴いてから質問したりグループで意見交換を行いました。
- 最後に参加した大人から、意見交換会の感想を発表しました。

### 意見抜粋

#### 【どんな学校をつくりたいですか？】

- ・ささいなことでも「ありがとう」と言える学校【理由】「ありがとう」と言われるといい気持ちになるから、相手にもそう思われるようなことをしたい。
- ・下級生にやさしい学校【理由】やさしくされると楽しく学校に来ることができるから。
- ・ちゃんとあいさつができる学校【理由】あいさつすると明るくなれるし、お互いの距離も縮まるから。

#### 【済美小の大事なひとりになろう、を実現するために自分たちにできること】

- ・チクチク言葉を言わないようにする【理由】人を傷つけるような言葉は、言われた相手も嫌な気分だし、言った自分も罪悪感を感じていいことないから。
- ・困っていることを話す【理由】人に言うことで解決できることもあるし、モヤモヤした気持ちがなくなるから。

#### 【みんなと生きる済美の子、を実現するために自分たちにできること】

- ・少数意見に耳を傾ける【理由】多数決だと、少数派の意見は入らなくなってしまうから。
- ・仲を深める【理由】自分と違う人がいても、そういう人と交流できればおもしろいと思うので、仲良くなるきっかけがあるといい。

済美小学校意見交換会の様子は、現在作成中です。近日中に区ホームページに掲載する予定です。

## 6. 「すぎなみフェスタ」の実施報告（11月4日実施）

桃井原っぱ公園で開催された「すぎなみフェスタ」に出展し、子どもの権利や「（仮称）杉並区子どもの権利に関する条例」の制定を見据えた取組の周知と、2テーマについて来場者から幅広く意見募集を行いました。

7

### 周知

○テント内に、子どもの権利条約の4原則やこども基本法、杉並区の取組をまとめたパネルを作成し、展示しました。また、同様の内容を記載したチラシと、名入れウェットティッシュを来場者に配布しました。

○意見を書いたカードと引き換えに、カプセルトイを回してもらいました。カプセルには、「子どもの権利条約の4原則」の条数（2、3、6、12）と「なみすけ」をデザインした缶バッジ、子どもの権利条約を説明したチラシを入れました。



パネルとチラシ



ウェットティッシュのふた

子どもの権利条約4原則ガチャ

### 意見募集

○2つのテーマ（「子どもにやさしいまちってどんなまち？」「好きな場所ってどんなところ？」）について、カードに意見を書いてもらってパネルに貼り、気球と紅葉した大木を完成させました。



意見カードのパネル  
左が気球、  
右が紅葉した大木

#### 【いただいたご意見（抜粋）】

##### テーマ1: 子どもにやさしいまちって、どんなまち？

- ・いろいろなひとがたのしくなかよくあそべるまち（小学生）
- ・はんざいとかがない（小学生）
- ・事件や火災がない町。子どもたちが楽しいと思える日々が続く町（中学生）
- ・子どもがワクワクするイベントがいっぱい。
- ・安全にすごせて自由に発言できて子どもの意見を親身に聴いてくれる大人がたくさんいるまち

##### テーマ2: 好きな場所って、どんなところ？

- ・公園（小・中学生、大人ともに多数）
- ・自分の家（リビング・ベッド）、消防隊、ぱーばんち、楽しい場所 等（小学生）
- ・学校、友達と会えるから（中学生）
- ・緑あふれる公園、緑や花の多い場所
- ・自由にスポーツができる場所
- ・家、家族と犬がいて友人がまわりにいる場所
- ・大人が子どもを自然に見守ってくれる場所

## 7. 杉並区ホームページ等における意見募集 (11月4日～12月31日まで実施中)

8

「すぎなみフェスタ」で行った意見募集と同じテーマで、区ホームページ及び児童館において、令和5年12月31日まで継続して意見を募集しています。児童館には、意見を書く用紙を用意します。集まった意見は、「杉並区子どもの権利擁護に関する審議会」に届けます。

子どもの 大人の

2023.11.4～2023.12.31

杉並区在住・在勤・在学の方（年齢は問いません）

# 皆さんの声を聴かせてください

## 意見募集テーマ

テーマ1 子どもにやさしいまちって、どんなまち？

テーマ2 好きな場所って、どんなところ？



ご意見は  
こちらから



(回答Logoフォームへ)

<https://logoform.jp/form/Y4gR/381694>



## 8. 今後（11月以降）実施する子どもからの意見聴取の取組について

### （1）「子どもワークショップ」の開催について

- **テーマ**：子どもの権利について知り、もっといい杉並にしていこう  
→ 子どもの権利について理解を深めたうえで、自分たちが普段過ごしたり使っている場所や施設、あったらいいなと思う場所や施設などの「子どもの居場所」について、区内の現状を調べたりグループワークで話し合ったりしながら意見をまとめ、最終回に区長に向けて発表します。
- **開催日時・場所**：①令和5年11月19日（日） 13:30～16:30 <児童青少年センター（ゆう杉並）>  
②令和5年12月16日（土）14:00～17:00 <区役所内会議室を予定>  
③令和6年2月23日（祝・金）9:30～12:30 <区役所内会議室を予定>  
④令和6年3月30日（土） 9:30～12:30 <区役所内会議室を予定>  
※令和6年3月23日（土）または24日（日）に発表のリハーサルを実施予定
- **対象・募集人数**：区内在住・在学で小学4年生～高校生の年代の方 15名

11月13日（月）まで参加者を募集しています。  
<https://www.city.suginami.tokyo.jp/news/r0510/1089370.html>



### （2）区立小学校における出前授業形式での意見交換会について

子どもの権利条約について知らない子どもは3割、というアンケート結果（※）を踏まえ、下記2校において、子どもの権利について理解を深めたうえで意見交換を行う「出前授業形式」の意見交換会の実施に向けたを調整しています。

（※セーブ・ザ・チルドレンが2019年に実施した「3万人アンケートから見る子どもの権利に関する調査」）

- **対象の学校及び学年・開催日時**
  - ①永福小学校 6年生 / 令和5年12月5日（火）5時間目
  - ②松庵小学校 5年生 / 令和5年12月15日（金）3・4時間目